



行動する・走る「うつくしま汗かき人」 長尾トモ子の日記から

インターネットで「長尾トモ子」と検索すればブログ(日記)がご覧になれます。毎日更新中!

年末職安緊急相談窓口開設

世界的景気悪化の影響で、失業者が全国で8万5千人あり、その中でも福島県は3,856人と愛知、長野に続き3番目に失職者が多いことが厚生労働省の調査で分りました。そこで福島のハローワークを調査して参りましたが、12月29、30の2日間で780人が訪れ160件の相談がありました。



福島ハローワーク窓口

一日も早く安定した仕事に就き、安心した生活が出来るよう政治に関わる私達は対策を考えなければならぬと感じました。

安心安全のための地域活動～子どもの交通安全対策～

子ども達の通学路の安全対策として富田東小学校西側に横断歩道設置。麓山21世紀公園前、虎丸地区に横断歩道・信号の設置をすすめております。

又、交番や警察官をより身近に感じて頂くための富田町交番フェアに出席致しました。



富田町交番フェア



富田東小横断歩道



麓山地区

県外調査 (大分県豊後高田・鹿児島県種子島)

大分県豊後高田市は過疎化していく街を昭和30年代の街並づくりをして町の活性化を計る。

又、種子島は今月1月21日に温室効果ガス濃度観測のために打上げるロケット「絆」について調査を行う。このロケットは東大阪市の町工場で作った「マイド1号」や大学の研究ロケットなど4つを載せ打ち上げる。



大分県(昭和の街づくり)



種子島宇宙センター

県内調査 (相馬養護学校・大笹生学園)

障がいのある子どもが通う相馬市立養護学校は相馬市以外の子どもも多く、県立とすべきとする要望を受け調査。

又、福島にある県立大笹生学園も老朽化しているための建て替えの要望を頂き調査する。



大笹生養護学校にて



相馬養護学校調査

ふくしま環境エネルギーフェア2008

昨年12月20・21日に郡山のビッグパレットで開催されました。新エネルギーシンポジウムや地球温暖化シンポジウム、ビジネスセミナーなどが行われ、環境負荷低減の新品や技術を持つ企業142社が出展しておりました。未来の子ども達のためにも美しい郷土を守りつづけて行きたいものです。



新エネルギーシンポジウム



会津工業高校の新エネの取組み



福島県議会議員 長尾 トモ子
福祉公安副委員長

県政報告 ともこ だより

皆様のご意見、ご要望をお気軽にお寄せ下さい

〒963-8041 福島県郡山市富田町前川原22 TEL:024-951-0341 FAX:024-951-0361
メールアドレス tomokon@circus.ocn.ne.jp (ホームページもあります)

ごあいさつ

地球上に人類が誕生してから500万年。いろいろな時代を超え今日の私達の生活がある事を考えると、その時代、時代の厳しさの中を生き抜いて来た人類のすばらしさを感じます。

平成21年、今、世界がそして日本がかかえている多くの問題に対し、人間の知恵と勇気を結集し、人として生活する事の幸せ、喜びを共に考えて行かなければならないと思います。

政治家は人々の願いや思いを受けとめ、皆が幸せになるための方向性を示すことが使命です。私も皆様のご意見や声を頂き、しっかり政治の場に反映させていく所存でございます。

平成21年も宜しくお願い申し上げます。

行動する・走る「うつくしま汗かき人」長尾トモ子 (2008.7~2008.12)

美しい自然を次世代に

～福島県の宝「猪苗代湖」の水質 日本一の復活に向けて～

福島県は全国に先がけ、平成14年3月に「猪苗代湖・裏磐梯湖沼群の水環境保全に関する条例」を制定し、水質保全につとめて参りましたが、一昨年9月の環境省の発表で大腸菌群の数値が1300を越えランク外になってしまいました。

そこで多くの県民がボランティアでゴミ拾いや湖北岸に群生しているチソ・リンを吸収するヨシ刈りや撤去作業を行ない、次世代にも美しい自然を残す事を信じて活動しております。



ヨシ刈り後の撤去作業(元日大 中村玄正先生と共に)



富田西小学校生徒による猪苗代湖のゴミ拾い

又、逢瀬川の水質や水辺環境を守るため「逢瀬川ふれあい通り実行委員会」として市民、川好きな人が共に活動している事に対し評価を受け、一昨年は「みんゆう環境賞」昨年は「民報あぶくま川清流大賞」も頂きました。

H20.12月議会 一般質問の内容と当局の答弁についてお知らせ致します。

<下記項目について質問>

第20回全国生涯フェスティバルについて・国際交流

問 第20回全国生涯フェスティバルの成果を今後県政にどう生かすのか。

答 5日間の会期を通し県内外から約55万人が参加した。このフェスティバルを通し、市町村や関係団体のネットワークを強化し、県民カレッジや学びの場を充実して行く。(知事)

問 知事は今後どのような考えで国際交流を進めていくのか。

答 長尾議員も同席頂き、しゃくなげ大使でもあるドイツのシュミット勝子氏とも懇談した。一人一人の心のこもった市民レベルでの交流が重要。これから心のこもった国際交流を進めて行く。(知事)



フラダンスで生涯学習の楽しさを知る



世界は一つ(マリールイズ氏と共に) ドイツシュミット勝子氏県知事訪問

過疎中山間地域対策について

問 過疎・中山間地域における産業振興につながる地域の取組について県の考えを尋ねたい。

答 高齢化が進む中、収入を確保し生き生き暮らすために地域づくり総合支援事業により地域資源を生かした新商品開発、農家レストランの立ち上げ支援、又地域コミュニティ再生支援枠の取組み、ふくしま産業応援ファンドによる支援、農家民宿の開設や建設業の新分野の進出支援など全庁的に取り組む。(企画調整部長)



議会での質問 平成20年12月10日

林業振興・森林環境税について

問 きのこの原木栽培の振興について尋ねたい。

答 きのこの需要は多くある。ナラ原木による栽培可能なナメコオリジナル品種など開発中。原木栽培技術の普及に努め、生産拡大していくように支援する。(農林水産部長)

問 山の恵である林産資源の新たな活用について尋ねたい。

答 ナツハゼ等果実の商品化研究、野生きのこの栽培技術の研究、又未利用材のペレット等の有効利用、きのこの原木栽培の検討を行う。(農林水産部長)

問 森林環境基金の成果や今後について尋ねたい。

答 地球温暖化対策の視点も加え、3939ヘクタール整備、又小・中学校の環境学習、森林ボランティアを含め14万人が活動する。23年度以降も審議会等の意見を聞き税導入を検討していく。(農林水産部長)



徳島県上勝町 横石氏の講演

荒川沿い植林活動

まちづくり・産業振興について

問 県産品の振興に向け都市住民との交流をどう進めているか

答 東京銀座にふくしまふるさと暮らし情報センターを開設したり、福島ファンクラブを通し各地の産品や郷土の文化、市町村のイベントの情報を発信している。(観光交通局長)

問 まちなかに子育てや世代間交流の機能を充実させるべき

答 キッズサロンや高齢者サロンなど「人」中心のまちづくりを進める上でも極めて効果的。商店街、NPO、子育て専門家、市町村の連携を支援する。(商工労働部長)

問 工業高校や県は地域産業を担う人材育成のために地域企業との連携をどのように取り組んでいるのか。

答 企業訪問や指導力向上のため、教員を地域企業へ派遣したり、高校に高い技能を持つ地域企業の人材受け入れを行う。又テクノアカデミーが協議会で地域貢献プランを進めており、今後も進行管理をしながら地域産業を支える人材育成に努める。(教育長、商工労働部長)

土木・猪苗代湖の水環境について

問 気候変化に伴う集中豪雨対策について

答 水位情報提供など避難活動を支援するソフト対策にも取り組む。又急激な出水の水害リスクへの適応策を検討していく。(土木部長)

問 猪苗代湖の北部水域の有機底泥対策について

答 ヨシ刈りやゴミの撤去作業を今後とも推進すると共に、有機底泥対策について多面的調査検討を行う。(生活環境部長)



集中豪雨による土砂災害の実験

保育制度について

問 認可外保育施設に対する助成を充実させるべき

答 入所児童の健康診断費や教材などの購入経費のほか19年度からは3才未満児の保育経費助成を行っている。又これからは国に対して助成措置を要望していく。(保健福祉部長)



板橋区大山商店街のにぎわい創出



日本の未来を担う子ども達



喜多方市の蔵を使った街づくり



富田西地域の子育て支援



内閣府主催全国子育てフォーラムin福島